

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式少人数教育推進費									
予算額	8, 271, 236千円	新規・継続の別	継続							
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。									
	2 内容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費									
	<table><tr><td>予算額</td><td>7, 383, 643千円</td></tr></table>			予算額	7, 383, 643千円					
	予算額	7, 383, 643千円								
	○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置									
	○配置した定数を活用し、市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を選択して実施									
	<table><tr><td>少人数授業</td><td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td></tr><tr><td>ティームティーチング</td><td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td></tr><tr><td>少人数学級</td><td>市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制</td></tr></table>			少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	ティームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制	
	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開								
	ティームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開								
	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制								
中学校少人数教育推進費										
○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は ○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能										
(2) 小学校低学年指導充実費										
<table><tr><td rowspan="2">配置学級数</td><td>1 年</td><td>約 306学級</td></tr><tr><td>2 年</td><td>約 280学級</td></tr><tr><td colspan="2">予算額</td><td>640, 726千円</td></tr></table>			配置学級数	1 年	約 306学級	2 年	約 280学級	予算額		640, 726千円
配置学級数	1 年	約 306学級								
	2 年	約 280学級								
予算額		640, 726千円								
○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施										
○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用										
(3) 教職員定数の改善（新規）										
<table><tr><td>予算額</td><td>246, 867千円</td></tr></table>			予算額	246, 867千円						
予算額	246, 867千円									
○小学校2年生で35人を超える学級の解消 (小学校1年生は②で解消済)										
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5833							

子どものための京都式少人数教育推進費

「まなび教育推進プラン」の重点施策の具体化のため、小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

小1の35人学級の実施（継続）
定数改善 ⑳～

小2の35人学級の実施（新規）
加配措置 ㉔～
予算額 246,867千円

京の子ども・少人数教育推進費

次の3つから
市町村が選択

少人数授業

子どもの興味・関心や
習熟の程度などによっ
て、特定の教科で学級
の枠を超えた20人程度
のグループで指導

チームティーチング

1クラスを2人の教員が
協力して指導

少人数学級

40人未満の人数で学級
を編制

小学校

1年

2年

小学校

3年

4年

5年

6年

中学校

1年

2年

3年

小学校低学年指導充実費
（継続）

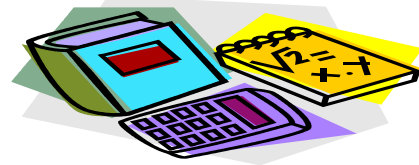
予算額 640,726千円
（23 650,889千円）

○授業等に集中できなかったり、教
員との関わりを強く求める小学1、
2年生で2人の教員による指導を
実施

京の子ども・少人数教育
推進費（継続）

予算額 7,383,643千円
（23 7,418,643千円）

○30人程度の学級編制が可能
となるよう教員配置を実施



【再掲】
中学校少人数教育推進費
（継続）

予算額 195,000千円
（23 195,000千円）

○35人を超える学級規模の解消
又は
○英語・数学を中心とした習熟
度別授業の充実が可能

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	京都市専科教育推進事業							
予算額	24,240千円	新規・継続の別	継続					
事業内容	1 目的 小学校から中学校への円滑な接続を図り、小学生の個性の伸長、豊かな情操の育成、伝統文化への理解等を進展させるため、京都方式による小学校専科教育を実施する。							
	2 内 容 府内小学校の芸術教科で、中学校等の教員による専科指導を拡充する。 <table><tr><td>◆ 対象学年</td><td>小学校5、6年</td></tr><tr><td>◆ 対象教科</td><td>音楽、図画工作</td></tr><tr><td>◆ 実施方法</td><td>中学校の教員を、その通学区内の小学校に派遣</td></tr></table> ※ 府立高校の教員の活用も、併せて推進する。			◆ 対象学年	小学校5、6年	◆ 対象教科	音楽、図画工作	◆ 実施方法
◆ 対象学年	小学校5、6年							
◆ 対象教科	音楽、図画工作							
◆ 実施方法	中学校の教員を、その通学区内の小学校に派遣							
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5842					

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	学 力 充 実 推 進 事 業 費			
予算額	79,700千円		新規・継続の別	継 続
事業概要 （ 目 的 ） 対 象 方 法 等	1 学力充実・向上システム			
	目 的	・現地現場主義に基づく先導的な研究開発や実践研究の推進 ・成果の普及による学力及び教職員の指導力の向上		
	内 容	◇学力充実等研究校を選定 自校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等		
	2 小・中学校学力診断テストの実施			
	目 的	府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善に役立てる。		
	内 容	小学校	中学校	
		対 象:第4・6学年 教 科:国語・算数	対 象:第2学年 教 科:国語・数学・英語	
	3 理科支援員の配置			
	目 的	先端科学技術に関する実験の演示・体験活動などによる理科教育の活性化と教員の指導力の向上を図る。		
	内 容	小学校に理科支援員を配置し、5・6年生を対象に観察・実験活動等を実施		
	4 振り返り集中学習「ふりスタ」			
	目 的	中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図る。		
	内 容	・対象:府内の中学1年生 ・実施時期:中学1年の早い時期(主に4月から8月) ・実施教科:国語、算数等		
5 大学の先生に学ぼう体験事業				
目 的	優れた資源を有する大学との連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成する。			
内 容	<体験授業の実施> 大学からの出前、大学での受入れによる体験授業の実施 <物理グランプリの開催> 物理コンテストの開催、物理オリンピック出場に向けた物理チャレンジ道場の実施 <教員研修の実施> 大学での最先端の科学技術等に関する研修(理科系)			
6 「ことばの力」育成プロジェクト				
目 的	府立高等学校において、言語力育成に向けた学習指導プログラム(PISA型学力育成プログラム)を開発する。			
内 容	PISA型学力育成モデル校において、高等学校新指導要領に対応した活用型学力育成のための指導方法や教材について研究開発を行う。(地歴・公民、理科)			
担当課名	学 校 教 育 課 指 導 第 1 担 当 学 校 教 育 課 指 導 第 2 担 当 高 校 教 育 課 指 導 第 2 担 当	電 話 番 号	075-414-5842 075-414-5840 075-414-5852	

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	学習習慣確立支援事業費		
予算額	65,978千円	新規・継続の別	継続
事業内容	1 目的 府内の小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置することにより、児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び学習習慣の定着を図るとともに、自ら学ぶ力を育成する。		
	2 内容 ◆小・中学校への「まなび・生活アドバイザー」の配置		
	（目的 対象 方法等）	校 種	事業概要（活動内容等）
		小学校	・ 配置人数 15人程度 （地域の状況に詳しい退職教員等を活用） ・ 生活習慣・学習習慣の定着に向けた支援 ・ 学級担任、福祉関係機関、地域等と連携した支援 等
	中学校	・ 配置人数 15人程度 （社会福祉士等の専門家を活用） ・ 社会福祉の専門的知識・技術を用いた支援 ・ 学級担任、スクールカウンセラー、社会福祉関係者等と連携した継続的な支援 等	
担当課名	学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5840

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費		
予算額	82,120千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的) 対象 (方法等)	1 目的 「質の高い学力」や「共生する力」をはぐくむ取組を進め、京都府教育振興プランの具現化を図るとともに、学力向上と希望進路の実現に向けて、府立高校が主体的に企画し、魅力ある学校づくりを推進する取組を支援する。		
	2 事業概要		
	事業名	概要	事業費
	「質の高い学力プラン」	基礎学力充実プロジェクト支援事業	・学習習慣を確立し、基礎基本を徹底する取組を支援する。 2,400
		学習意欲向上プロジェクト支援事業	・知的好奇心をはぐくみ、主体的に学習する意欲や態度を養う取組を支援する 30,770
		「活用する力」育成事業	・課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等をはぐくむ取組を推進する。 29,950
		小計	63,120
	「共生する力プラン」	さわやかハート応援事業	・豊かな人間性を兼ね備えた高校生の育成を目的に「伝統・文化に関する活動」、「道德教育」、「震災被災地支援活動」等の取組を支援する。 1,000
		社会とかかわる力の育成プロジェクト支援事業	・社会の仕組みを理解し、積極的に社会参画するための知識・技能や態度など、公民的資質（シティズンシップ）を「シティズンシップ教育支援員」と連携して養う。 1,000
		環境教育推進事業	・環境教育・環境保全活動等への取組を支援する。 1,000
		小計	3,000
	魅力あふれる進学校プラン	学力向上フロンティア校支援事業	・生徒の学力向上に繋がる先進的な取組を行う学校の企画を公募し、コンペ方式により採択する。 ・テーマは学力向上の観点から各校が決定 11,000
		特色ある職業学科の研究	・地域企業、大学等との連携による体験的な学習を支援することにより、将来の地域産業を担うスペシャリストの育成を図る。 5,000
		小計	16,000
	合 計		82,120
担当課名	高校教育課	振興担当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号 075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	豊かな心を育てる教育推進事業費		
予算額	35,157千円	新規・継続の別	継続
事業内容	1 目的 体験活動等を通じて、子どもたちに豊かな人間性をはぐくむため、家庭や地域社会等との連携を図りながら、総合的な施策を推進する。		
	2 内 容		
	目 的	事 項	内 容
	対 象	KY0発見 仕事・文化 体験活動推進事業	府内の小・中学校で実施 ・ 地域の伝統や文化に関する体験活動 ・ 仕事に関する体験活動
	方法等	子どもの読書活動の 推進	・ 子ども読書本のしおりコンテストの実施 ・ 読書登録システムの運営
		「京の子ども 明日 へのとびら」の作成	心の教育の重要性に鑑み、京都の英知 を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学 習資料集を作成
		計	
担当課名	学校教育課 指導第2担当 社会教育課 社会教育主事	電 話 番 号	075-414-5840 075-414-5885

平成24年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	古典の日推進事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的） 対 象 方法等	1 目 的 古典の日(11月1日)を中心に、小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を行うことにより、児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図る。 2 内 容 ◆小・中学生による朗読・暗唱大会の開催 ▷源氏物語をはじめ伝統的な言語文化に関する古典作品等の朗読・暗唱 ▷児童生徒の随筆・小論文等の音読発表、プレゼンテーションによる学習成果の発表 ▷言語力の育成等に関する講演等 ▷高校生や保護者・地域の方などより多くの方が参加できる大会として教育局ごとに実施 3 その他の取組 授業で古典を取り上げるほか、様々な場面で古典に関する取組を実施 ▷学校での取組例 ・全校音読・朗読大会の開催 ・百人一首かるた大会の開催 ・古典に関する随筆・小論文、プレゼンテーション作品の製作 ・京都にゆかりの題材をもとに歴史探訪(フィールドワーク)を実施 ・学校図書館での「古典の日」読書コーナーの設置 ・大学教授等による講演会、雅楽、能、狂言などの鑑賞及び体験		
担当課名	学 校 教 育 課 指 導 第 2 担 当	電 話 番 号	075-414-5840

平成24年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	高校生伝統文化事業費										
予算額	21,000千円	新規・継続の別	継 続								
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成にあたり、京都府にゆかりの深い茶道・華道を取り上げ、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力を育む。										
	2 内 容 茶道・華道を通して伝統文化の学習を推進する。 ○京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心の育成 ○礼儀作法を通じての、規範意識や社会性の育成 ○人を思いやり、尊重する心の育成 ○豊かな感性、情緒の育成 （単位：千円）										
	<table><tr><th>事 項</th><th>内 容</th><th>事 業 費</th></tr><tr><td>茶道を通しての 伝統文化の学習</td><td>◆全府立高校46校で実施</td><td>18,600</td></tr><tr><td>華道を通しての 伝統文化の学習</td><td>◆府立高校5校程度で実施</td><td>2,400</td></tr></table> ※商工労働観光部所管の高校生・和装文化普及体験事業と連携を図り、 伝統文化の学習を推進。			事 項	内 容	事 業 費	茶道を通しての 伝統文化の学習	◆全府立高校46校で実施	18,600	華道を通しての 伝統文化の学習	◆府立高校5校程度で実施
事 項	内 容	事 業 費									
茶道を通しての 伝統文化の学習	◆全府立高校46校で実施	18,600									
華道を通しての 伝統文化の学習	◆府立高校5校程度で実施	2,400									
担当課名	高 校 教 育 課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852								

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	高校生「京の文化力」推進事業費											
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続									
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 府立高校の文化部活動への支援等を通じて、京都文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむ。											
	2 内 容 （単位：千円）											
		<table><thead><tr><th>事 項</th><th>内 容</th><th>事 業 費</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">文化の次世代への継承</td><td>◆強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ◆高い専門性を有する外部指導者による指導</td><td rowspan="2">4,000</td></tr><tr><td>◆強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加 ◆京都の文化を次世代に継承</td></tr><tr><td>芸術文化活動の推進</td><td>◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等</td><td>6,000</td></tr></tbody></table>	事 項	内 容	事 業 費	文化の次世代への継承	◆強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ◆高い専門性を有する外部指導者による指導	4,000	◆強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加 ◆京都の文化を次世代に継承	芸術文化活動の推進	◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等	6,000
	事 項	内 容	事 業 費									
	文化の次世代への継承	◆強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ◆高い専門性を有する外部指導者による指導	4,000									
◆強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加 ◆京都の文化を次世代に継承												
芸術文化活動の推進	◆京都府高等学校総合文化祭の開催 ◆各部門の優秀校による発表等	6,000										
	— 《「京都総文」での部門など19部門》 — 演劇、合唱、吹奏楽、器楽、邦楽、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、吟詠剣詩舞、郷土芸能、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、茶道											
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852									

平成24年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	文化財対策費		
予算額	1,305,927千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 京都府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。 2 事業内容 (単位：千円)		
	事業名	内 容	事業費
	歴史的建造物等保存伝承事業費	国指定文化財、府指定・登録文化財等の保存事業を行い、歴史的建造物等の保存・継承を図る。	1,255,566
	建造物保存修理受託事業費	国指定文化財建造物の受託修理	1,124,818
	建造物保存修理受託工事現場公開事業費	文化財保護に係る普及啓発のため、修理現場の公開を実施	1,000
	指定文化財等保存修理補助事業費	国及び府指定文化財等所有者が行う保存修理事業等に補助	68,000
	指定文化財等維持管理費補助事業費	国及び府指定文化財等所有者が行う維持管理事業に補助	46,300
	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金	重要伝統的建造物群保存地区保存事業を行う市町に対する補助	6,900
	祇園祭山鉾保存修理事業費等補助金	重要有形民俗文化財である山鉾について山鉾保存会が行う緊急修理の負担軽減等	8,548
	埋蔵文化財調査保存事業費	発掘調査の実施及び市町村が行う調査等へ補助し、文化財の保存・継承を図る。	46,361
	埋蔵文化財発掘調査費	農地などの開発事業に伴う発掘調査等を実施	2,100
	恭仁宮跡保存活用調査費	発掘調査成果を府民に還元するとともに、保存・活用に向けた遺構調査を実施	5,000
	埋蔵文化財発掘調査費等補助金	開発等に伴う緊急発掘調査や史跡買上等を行う市町村に対する補助	39,261
	⑨ 文化財防災対策連携事業	災害時の適切な文化財保全のため、文化財防災管理状況のデータベースを作成し、関連機関との情報共有を図る。	4,000
	計		1,305,927
担当課名	文化財保護課	企画調整担当 建造物担当 管理調査担当 記念物担当	電話番号 075-414-5896 075-414-5898 075-414-5901 075-414-5903

平成24年度当初予算主要事項説明

教育委員会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費 (建造物保存修理受託事業費)																																																										
予算額	1, 124, 818千円	新規・継続の別	継続																																																								
事業内容 目的 対象 方法等	◆ <u>京都府内の国宝・重要文化財建造物を受託修理（継続）</u> 1 目的 国庫補助を受けて行われる国宝・重要文化財建造物の保存修理について、文化財所有者からの委託を受けて、府が直営により実施 2 事業内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>文化財の名称</th><th>種別</th><th>工事種別</th><th>24年度の主な内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ちおんいん ほんどう しゅうえどう 知恩院（本堂・集會堂他）</td><td>国宝 重文</td><td>半解体修理 他</td><td>本堂の瓦降ろし・解体等</td></tr> <tr> <td>きよみずでら ほんどう 清水寺（本堂他）</td><td>国宝 重文</td><td>屋根葺替・ 部分修理他</td><td>子安塔の組立、朝倉堂・奥院・阿弥陀堂の補修等</td></tr> <tr> <td>おがわけじゅうたく しゅや 小川家住宅（主屋） 〔二条陣屋〕</td><td>重文</td><td>半解体修理</td><td>組立</td></tr> <tr> <td>まんぶくじ しやういんどうくり 萬福寺（松隠堂庫裏他）</td><td>重文</td><td>解体修理他</td><td>松隠堂庫裏・裏門の組立等</td></tr> <tr> <td>きやうおうごくじ とうだいもん 教王護国寺（東大門他） 〔東寺〕</td><td>重文</td><td>解体修理等</td><td>東大門の組立等</td></tr> <tr> <td>かもわけいかづちじんじや ほんでん 賀茂別雷神社（本殿他） 〔上賀茂神社〕</td><td>国宝</td><td>屋根葺替・ 部分修理</td><td>神宝庫等の檜皮葺・木部修理等</td></tr> <tr> <td>かもみおやじんじや あずかりや 賀茂御祖神社（預り屋他） 〔下鴨神社〕</td><td>重文</td><td>屋根葺替・ 部分修理</td><td>細殿・橋殿等の檜皮葺・木部補修等</td></tr> <tr> <td>けんになじ ほうじょう 建仁寺（方丈）</td><td>重文</td><td>屋根葺替・ 部分修理</td><td>こけら葺、木部・壁補修等</td></tr> <tr> <td>だいふくこうじ ほんどう 大福光寺（本堂）</td><td>重文</td><td>屋根葺替・ 部分修理他</td><td>檜皮葺、壁・亀腹補修等</td></tr> <tr> <td>りやうこういん しょういん 竜光院（書院他） 〔大徳寺塔頭〕</td><td>国宝</td><td>屋根葺替・ 部分修理</td><td>書院こけら葺、盤桓廊・兜門檜皮葺等</td></tr> <tr> <td>ちおんいん こほうじょう 知恩院（小方丈）</td><td>重文</td><td>屋根葺替・ 部分修理</td><td>檜皮葺、障壁画修理等</td></tr> <tr> <td>れいぜいけじゅうたく ざしき だいどころ 冷泉家住宅（座敷・台所）</td><td>重文</td><td>屋根葺替・ 部分修理</td><td>こけら葺等</td></tr> <tr> <td>計</td><td>12件</td><td>1, 124, 818千円</td><td></td></tr> </tbody> </table>			文化財の名称	種別	工事種別	24年度の主な内容	ちおんいん ほんどう しゅうえどう 知恩院（本堂・集會堂他）	国宝 重文	半解体修理 他	本堂の瓦降ろし・解体等	きよみずでら ほんどう 清水寺（本堂他）	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理他	子安塔の組立、朝倉堂・奥院・阿弥陀堂の補修等	おがわけじゅうたく しゅや 小川家住宅（主屋） 〔二条陣屋〕	重文	半解体修理	組立	まんぶくじ しやういんどうくり 萬福寺（松隠堂庫裏他）	重文	解体修理他	松隠堂庫裏・裏門の組立等	きやうおうごくじ とうだいもん 教王護国寺（東大門他） 〔東寺〕	重文	解体修理等	東大門の組立等	かもわけいかづちじんじや ほんでん 賀茂別雷神社（本殿他） 〔上賀茂神社〕	国宝	屋根葺替・ 部分修理	神宝庫等の檜皮葺・木部修理等	かもみおやじんじや あずかりや 賀茂御祖神社（預り屋他） 〔下鴨神社〕	重文	屋根葺替・ 部分修理	細殿・橋殿等の檜皮葺・木部補修等	けんになじ ほうじょう 建仁寺（方丈）	重文	屋根葺替・ 部分修理	こけら葺、木部・壁補修等	だいふくこうじ ほんどう 大福光寺（本堂）	重文	屋根葺替・ 部分修理他	檜皮葺、壁・亀腹補修等	りやうこういん しょういん 竜光院（書院他） 〔大徳寺塔頭〕	国宝	屋根葺替・ 部分修理	書院こけら葺、盤桓廊・兜門檜皮葺等	ちおんいん こほうじょう 知恩院（小方丈）	重文	屋根葺替・ 部分修理	檜皮葺、障壁画修理等	れいぜいけじゅうたく ざしき だいどころ 冷泉家住宅（座敷・台所）	重文	屋根葺替・ 部分修理	こけら葺等	計	12件	1, 124, 818千円	
文化財の名称	種別	工事種別	24年度の主な内容																																																								
ちおんいん ほんどう しゅうえどう 知恩院（本堂・集會堂他）	国宝 重文	半解体修理 他	本堂の瓦降ろし・解体等																																																								
きよみずでら ほんどう 清水寺（本堂他）	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理他	子安塔の組立、朝倉堂・奥院・阿弥陀堂の補修等																																																								
おがわけじゅうたく しゅや 小川家住宅（主屋） 〔二条陣屋〕	重文	半解体修理	組立																																																								
まんぶくじ しやういんどうくり 萬福寺（松隠堂庫裏他）	重文	解体修理他	松隠堂庫裏・裏門の組立等																																																								
きやうおうごくじ とうだいもん 教王護国寺（東大門他） 〔東寺〕	重文	解体修理等	東大門の組立等																																																								
かもわけいかづちじんじや ほんでん 賀茂別雷神社（本殿他） 〔上賀茂神社〕	国宝	屋根葺替・ 部分修理	神宝庫等の檜皮葺・木部修理等																																																								
かもみおやじんじや あずかりや 賀茂御祖神社（預り屋他） 〔下鴨神社〕	重文	屋根葺替・ 部分修理	細殿・橋殿等の檜皮葺・木部補修等																																																								
けんになじ ほうじょう 建仁寺（方丈）	重文	屋根葺替・ 部分修理	こけら葺、木部・壁補修等																																																								
だいふくこうじ ほんどう 大福光寺（本堂）	重文	屋根葺替・ 部分修理他	檜皮葺、壁・亀腹補修等																																																								
りやうこういん しょういん 竜光院（書院他） 〔大徳寺塔頭〕	国宝	屋根葺替・ 部分修理	書院こけら葺、盤桓廊・兜門檜皮葺等																																																								
ちおんいん こほうじょう 知恩院（小方丈）	重文	屋根葺替・ 部分修理	檜皮葺、障壁画修理等																																																								
れいぜいけじゅうたく ざしき だいどころ 冷泉家住宅（座敷・台所）	重文	屋根葺替・ 部分修理	こけら葺等																																																								
計	12件	1, 124, 818千円																																																									
担当課名	文化財保護課 建造物担当	電話番号	075-414-5898																																																								

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	競技スポーツ振興事業費																
予算額	230,000千円	新規・継続の別	継続														
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 トップアスリートや国体選手の養成強化を支援することで、府民スポーツの更なる振興と競技力の向上を図り、京都府におけるスポーツの飛躍的发展を期す。 また、ジュニア選手の育成強化を図り、中長期的視点で本府競技力の維持・向上を図る。																
	2 内容																
	<table><tr><th>事 項</th><th>概 要</th></tr><tr><td>パワフル京都推進事業</td><td>日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施</td></tr><tr><td>国体選手養成強化事業</td><td>国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援</td></tr><tr><td>ジュニア選手育成強化事業</td><td>ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成</td></tr><tr><td colspan="2">⑨「チーム京都」推進事業</td></tr><tr><td>トップアスリートクラブ育成事業</td><td>トップアスリートクラブの創設や就職支援等により有望な社会人選手を確保し、競技力の向上を図る</td></tr><tr><td>マネジメント・アドバイザーによる強化体制充実事業</td><td>ナショナルチームレベルの人材をマネジメント・アドバイザーとして招致し、競技団体の指導体制等を強化</td></tr></table>			事 項	概 要	パワフル京都推進事業	日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施	国体選手養成強化事業	国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援	ジュニア選手育成強化事業	ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成	⑨「チーム京都」推進事業		トップアスリートクラブ育成事業	トップアスリートクラブの創設や就職支援等により有望な社会人選手を確保し、競技力の向上を図る	マネジメント・アドバイザーによる強化体制充実事業	ナショナルチームレベルの人材をマネジメント・アドバイザーとして招致し、競技団体の指導体制等を強化
	事 項	概 要															
	パワフル京都推進事業	日本を代表するトップアスリートへの支援や、選手の効果的な強化を行うためのスポーツ医・科学サポート事業を実施															
	国体選手養成強化事業	国体での上位入賞を目指し、遠征や合宿等強化活動を行う競技団体へ支援															
	ジュニア選手育成強化事業	ジュニア層にスポーツの楽しさを啓発するとともに、一貫した指導理念に基づく競技者育成プログラムにより、ジュニア選手を育成															
	⑨「チーム京都」推進事業																
	トップアスリートクラブ育成事業	トップアスリートクラブの創設や就職支援等により有望な社会人選手を確保し、競技力の向上を図る															
	マネジメント・アドバイザーによる強化体制充実事業	ナショナルチームレベルの人材をマネジメント・アドバイザーとして招致し、競技団体の指導体制等を強化															
担当課名	保健体育課 スポーツ振興担当	電話番号	075-414-5864														

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	日本代表・トップアスリート交流事業費		
予算額	6, 0 0 0 千円	新規・継続の別	新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目 的 京都のスポーツ施設を有効活用し、身近にトップレベルの練習を見学したり指導を受ける機会を設けるなどし、子どもたちに夢と感動を与え、積極的にスポーツに参加する意欲を喚起する。 2 内 容 各競技団体のナショナルチームや海外チームを京都に招へいし、合宿等の機会や練習会場を提供するとともに、子どもたち（中・高校生）と一緒に活動したり、指導してもらう時間を設け、一流のプレーを間近に見て、夢を育む。		
担当課名	保健体育課 スポーツ振興担当	電話番号	075-414-5864

平成24年度当初予算案 主要事項説明

教育委員会

事業名	京都フレックス学園構想の推進 (府立学校施設整備費)																
予算額	120,000千円	新規・継続の別	新規														
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 生徒一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばすため、生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応する新しいタイプの教育を推進																
	2 事業概要 生徒の多様な志望動機や学習経験など、多様なニーズに対応できる柔軟な教育システムをもつ新しいタイプの高校を京都市内に新設（平成27年4月開校予定）																
	<table><thead><tr><th>概要</th><th colspan="2">年次計画</th><th>事業費</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">◆京都市地区（現鴨沂高校紫野グラウンド）に府立高校を新設 ◎新設に係る基本・実施設計費</td><td>②④</td><td>基本・実施設計</td><td>120,000千円</td></tr><tr><td>②⑤②⑥</td><td>校舎新築工事</td><td></td></tr><tr><td>②⑦</td><td>開校</td><td></td></tr></tbody></table>	概要	年次計画		事業費	◆京都市地区（現鴨沂高校紫野グラウンド）に府立高校を新設 ◎新設に係る基本・実施設計費	②④	基本・実施設計	120,000千円	②⑤②⑥	校舎新築工事		②⑦	開校			
概要	年次計画		事業費														
◆京都市地区（現鴨沂高校紫野グラウンド）に府立高校を新設 ◎新設に係る基本・実施設計費	②④	基本・実施設計	120,000千円														
	②⑤②⑥	校舎新築工事															
	②⑦	開校															
	3 京都フレックス学園構想の特徴																
	①従来 ^① の全日 ^② 制・定時 ^③ 制高校の概念を超える自由なスタイル ・学年制の良さを生かした柔軟な単位制システム （担任制・クラス制によるHRを重視した丁寧な指導） ・午前部・午後部の二部制を活用した柔軟な教育システム （生徒の生活スタイルに合わせた授業時間帯を選択） ・卒業までの年数（3・4年）を入学後に生徒が自由に選択																
	②いつでも誰でも学べる柔軟な教育内容 ・学びやすい独自の教科・科目 ・実習・体験型科目を多く設定（IT、芸術、資格取得に対応） ・柔軟な授業時間（45分授業）																
	③外部機関とつながるトータルサポート～学習・就労・自立支援 ・外部アドバイザーやカウンセラーによるトータルサポート （学習・進路相談、メンタルカウンセリング、就労相談） ・外部機関の人的資源や施設を活用した授業（資格取得に対応）																
担当課名	管 理 課 高校教育課	管 理 担 当 高校改革担当	電話番号 075-414-5768 075-414-5853														

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		
予算額	220,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的） 対象 方法等	1 目的 小・中学校の通常学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備などを先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。 ※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等 2 内容 (1) 教員配置 発達障害のある児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として100名配置 (2) 配置効果 ○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保 ○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成 ○一人一人の状況に応じた指導の推進		
担当課名	教職員課 人事担当 特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5835

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育総合推進事業費		
予算額	20,045千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、一貫した支援を総合的に行う。 2 内容 (1) 特別支援教育サポート拠点(宇治支援学校内に設置)事業 ・ 特別支援教育に係る研修・研究の拠点として、教員への体験型専門研修や研究を実施 ・ 医師や作業療法士等からなる「スーパーサポートチーム」を活用した相談・支援を実施 ・ 視覚・聴覚障害のある子どもへの相談・支援を実施 (2) 地域等連携推進事業 ・ 全ての特別支援学校に地域支援センターを設置し、専任の地域支援コーディネーターを配置し、教育相談を実施 ・ 校医、地域の福祉関係者、小・中学校及び特別支援学校教員等からなる巡回相談支援チームを組織し、教育相談を実施 (3) ボランティア活動推進事業 ボランティア養成講座や児童生徒によるボランティア活動を実施 (4) 文化スポーツ交流事業 児童生徒が、文化芸術に直接親しむ機会や、文化芸術を発表し自己表現する機会を創出 (5) 医療的ケア体制充実事業 府教育委員会・医療的ケア担当者・関係機関で構成する医療的ケア実施体制整備委員会を設置するとともに、各特別支援学校においては医療的ケアを実施する上での安全を確保するため、校内委員会を設置して校内における医療的ケアの実施体制を整備		
担当課名	特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5835

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	就労支援事業費			
予算額	9, 300千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 （目的） （対象） （方法等）	1 目的 障害のある生徒の自立と社会参加を促進するため、特別支援学校高等部の職業教育の充実を図るとともに、積極的な企業訪問や啓発を通して、職場開拓や実習先の確保に努める。			
	2 内容			
	事業内容	事業内容		
	「ふれあい・心のステーション」	内容	府立特別支援学校全11校が参加 生徒が自ら製作品の販売実習・実演を行い、府民との交流や企業の理解啓発を図る。 （窯業・木工・縫製・農産品等）	
		時期	平成24年9月（障害者雇用支援月間）	
場所		大丸京都店		
特別支援学校高等部生徒の就労支援	内容	進路指導担当教員等がハローワーク等と連携し、新しい職場の開拓や現場実習の受入先の確保に一層取り組めるよう、非常勤講師を配置する。		
担当課名	特別支援教育課 教職員課	指導推進担当 企画調整担当	電話番号 075－414－5835 075－414－5789	

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	「もうすぐ１年生」体験入学推進費		
予算額	5, 0 0 0 千円	新規・継続の別	継 続
事業内容	1 目 的 小学校入学後の生活・学習習慣の変化に対応することができない「小１プロブレム」の児童が増加していることを踏まえ、小学校において体験入学事業を推進することにより、保育所、幼稚園から小学校への円滑な接続を図る。 2 事業概要 (1) 体験入学事業の実施 ◆ 市町村が実施する体験入学事業への助成 ◆ 対 象：体験入学事業を実施する府内の小学校 ◆ 負担割合：府 1 / 2、市町村 1 / 2 ◆ 対象内容 ・ 次年度の新１年生を対象とした１週間程度の体験入学 ・ 実施方法等を検討する推進協議会の設置 (2) 連絡協議会の設置 地域ごとに連絡協議会を設置し、効果的な体験入学の在り方等について情報共有・検討を行うことにより、全ての小学校で体験入学が実施できるよう啓発		
目 的 対 象 方 法 等	担当課名	学校教育課 指導第 1 担当	電 話 番 号 075-414-5842

平成 24 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	心のサポート推進事業費																																											
予算額	278,959千円	新規・継続の別	継続																																									
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 いじめ、不登校等の問題行動や少年による凶悪犯罪の発生などが社会問題となっていることを踏まえ、学校等における児童生徒や保護者の相談に対応する総合的なサポート体制（相談体制）を充実するとともに、不登校対策や生徒指導の充実を図る。																																											
	2 内 容																																											
	<table><tr><td colspan="2">事 項</td><td>内 容</td><td>事業費</td></tr><tr><td rowspan="5">相談体制の充実</td><td>スクールカウンセラーの配置</td><td>・臨床心理士によるカウンセリング ・児童生徒、教職員・保護者への助言・援助 ・小学校への配置（10校程度） ・中学校、高校とも全校に配置</td><td>203,371</td></tr><tr><td>トータルアドバイスセンター教育相談</td><td>・精神科医、臨床心理士などの教育相談 ・電話・来所・巡回による教育相談 ・子どものころセミナー、教育相談実技講座の開催</td><td>7,500</td></tr><tr><td>家庭教育相談</td><td>・家庭教育カウンセラーの派遣、巡回相談の実施 ・家庭教育に係る電話相談の実施</td><td>8,000</td></tr><tr><td>いじめ対策24時間電話相談</td><td>24時間体制での電話相談の実施</td><td>15,420</td></tr><tr><td>ネットいじめ対策</td><td>学校非公式サイトなどネット上の監視</td><td>8,000</td></tr><tr><td rowspan="4">不登校対策の充実</td><td>心の居場所サポーターの配置</td><td>登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターの配置</td><td>19,673</td></tr><tr><td>生徒指導・進路指導総合推進</td><td>いじめ、不登校の未然防止、早期発見・早期対応のための効果的な取組についての特色ある実践研究</td><td>11,000</td></tr><tr><td>フリースクール連携推進</td><td>・フリースクールと学校との連携のあり方、施設での学習評価等実践研究 ・認定フリースクールが実施する学校と連携した教育活動への助成</td><td>2,400</td></tr><tr><td>ふれあい宿泊学習</td><td>不登校傾向にある児童生徒を対象に少年自然の家で宿泊合宿を実施</td><td>3,000</td></tr><tr><td>の生徒充実指導</td><td>「魅力ある学校づくり」調査研究</td><td>問題行動の未然防止につながる、児童生徒にとって魅力ある学校づくりの取組を研究</td><td>595</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td></td><td>278,959</td></tr></table>			事 項		内 容	事業費	相談体制の充実	スクールカウンセラーの配置	・臨床心理士によるカウンセリング ・児童生徒、教職員・保護者への助言・援助 ・小学校への配置（10校程度） ・中学校、高校とも全校に配置	203,371	トータルアドバイスセンター教育相談	・精神科医、臨床心理士などの教育相談 ・電話・来所・巡回による教育相談 ・子どものころセミナー、教育相談実技講座の開催	7,500	家庭教育相談	・家庭教育カウンセラーの派遣、巡回相談の実施 ・家庭教育に係る電話相談の実施	8,000	いじめ対策24時間電話相談	24時間体制での電話相談の実施	15,420	ネットいじめ対策	学校非公式サイトなどネット上の監視	8,000	不登校対策の充実	心の居場所サポーターの配置	登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターの配置	19,673	生徒指導・進路指導総合推進	いじめ、不登校の未然防止、早期発見・早期対応のための効果的な取組についての特色ある実践研究	11,000	フリースクール連携推進	・フリースクールと学校との連携のあり方、施設での学習評価等実践研究 ・認定フリースクールが実施する学校と連携した教育活動への助成	2,400	ふれあい宿泊学習	不登校傾向にある児童生徒を対象に少年自然の家で宿泊合宿を実施	3,000	の生徒充実指導	「魅力ある学校づくり」調査研究	問題行動の未然防止につながる、児童生徒にとって魅力ある学校づくりの取組を研究	595	計			278,959
	事 項		内 容	事業費																																								
	相談体制の充実	スクールカウンセラーの配置	・臨床心理士によるカウンセリング ・児童生徒、教職員・保護者への助言・援助 ・小学校への配置（10校程度） ・中学校、高校とも全校に配置	203,371																																								
		トータルアドバイスセンター教育相談	・精神科医、臨床心理士などの教育相談 ・電話・来所・巡回による教育相談 ・子どものころセミナー、教育相談実技講座の開催	7,500																																								
		家庭教育相談	・家庭教育カウンセラーの派遣、巡回相談の実施 ・家庭教育に係る電話相談の実施	8,000																																								
		いじめ対策24時間電話相談	24時間体制での電話相談の実施	15,420																																								
		ネットいじめ対策	学校非公式サイトなどネット上の監視	8,000																																								
	不登校対策の充実	心の居場所サポーターの配置	登校できるが教室に入りにくい児童生徒に対し、相談室等で相談・学習支援を行うため心の居場所サポーターの配置	19,673																																								
		生徒指導・進路指導総合推進	いじめ、不登校の未然防止、早期発見・早期対応のための効果的な取組についての特色ある実践研究	11,000																																								
		フリースクール連携推進	・フリースクールと学校との連携のあり方、施設での学習評価等実践研究 ・認定フリースクールが実施する学校と連携した教育活動への助成	2,400																																								
		ふれあい宿泊学習	不登校傾向にある児童生徒を対象に少年自然の家で宿泊合宿を実施	3,000																																								
	の生徒充実指導	「魅力ある学校づくり」調査研究	問題行動の未然防止につながる、児童生徒にとって魅力ある学校づくりの取組を研究	595																																								
計			278,959																																									
担当課名																																												
学校教育課 指導第2担当 高校教育課 指導第1担当 社会教育課 社会教育主事		電話番号	075-414-5840 075-414-5851 075-414-5885																																									

平成24年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	職業教育充実事業費										
予算額	3,000千円	新規・継続の別	継続								
事業内容	1 目的 子どもたちが自ら進路を主体的に切り拓き、社会人・職業人として自立していくことを目指し、高校生段階で将来を見通した勤労観・職業観をはぐくむ教育内容の充実を図る。										
	2 内容										
	(単位：千円)										
目的 対象 方法等	<table><tr><th>事項</th><th>内 容</th><th>事業費</th></tr><tr><td rowspan="2">キャリア教育サポーターの派遣</td><td>◆企業関係者等をキャリア教育サポーターとして登録 ◆府立高校に派遣し、教員への研修や生徒の進路指導を充実 ※研究実践校を中心に15校程度に派遣</td><td rowspan="2">3,000</td></tr><tr><td>民間団体等と連携した体験活動の推進</td><td>◆民間団体等が生徒のニーズにあった体験活動の場（企業等）を開拓 ◆生徒一人一人の状況に応じたインターンシップ等体験活動を充実</td></tr></table>			事項	内 容	事業費	キャリア教育サポーターの派遣	◆企業関係者等をキャリア教育サポーターとして登録 ◆府立高校に派遣し、教員への研修や生徒の進路指導を充実 ※研究実践校を中心に15校程度に派遣	3,000	民間団体等と連携した体験活動の推進	◆民間団体等が生徒のニーズにあった体験活動の場（企業等）を開拓 ◆生徒一人一人の状況に応じたインターンシップ等体験活動を充実
	事項	内 容	事業費								
	キャリア教育サポーターの派遣	◆企業関係者等をキャリア教育サポーターとして登録 ◆府立高校に派遣し、教員への研修や生徒の進路指導を充実 ※研究実践校を中心に15校程度に派遣	3,000								
民間団体等と連携した体験活動の推進		◆民間団体等が生徒のニーズにあった体験活動の場（企業等）を開拓 ◆生徒一人一人の状況に応じたインターンシップ等体験活動を充実									
担当課名	高校教育課 振興担当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852								

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	読書活動推進事業費		
予算額	5, 000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 京都府子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）に基づき、子どもの読書活動を一層推進することにより、豊かな心の育成や「ことばの力」の向上を図る。		
	2 内 容 調べ学習に役立つ図書を府立図書館において整備し、「学校支援セット」としてメニュー化して、府内の公立図書館を通じて小・中学校、高等学校に貸し出す。		
	区分	ジャンル	テーマ（主なもの）
	小中学校版	環 境	地球温暖化、自然といきもの、エコ・リサイクル
		古 典	物語・詩歌、伝統芸能、京の昔
		こ と ば	表現、朗読・素読、語彙・読解力
		食育・生活	日本の食、世界の食、暮らし
		福祉・人権	ボランティア、ユニバーサルデザイン、人権
		国際理解	世界と日本、国際協力、国際平和・戦争
		仕 事	職業体験、職業ガイド
宇 宙		宇宙	
防 災	自然災害、安全対策		
府立学校版	環 境	地球温暖化・環境危機、エネルギー・循環	
	医療・福祉	人体・予防医学、病気、社会保障	
	教 育	読書、リテラシー教育、若者論・思春期心理	
	文 化	伝統文化（茶道・華道）、世界遺産、各国の文化	
	国際社会	国際協力・NPO・NGO、世界情勢、情報化社会	
	仕 事	仕事観、職種、企業・起業、ワークライフバランス	
	ミニ版	防災、家族、京都、古典文学	
担当課名	社会教育課 振興担当	電話番号	075-414-5884

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立高校生グローバルチャレンジ500事業費		
予算額	243,482千円	新規・継続の別	新規 (一部継続)
事業内容	高校生の海外語学研修や留学・英語指導助手の配置、独自教材の開発などにより、コミュニケーション能力と国際感覚を身に付けた国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。		
	1 府立高校生グローバルチャレンジ事業		
	内 容	◇海外での語学研修（1ヶ月程度 20人） 友好提携を結んでいる英国・エディンバラなどでスピーキング、リスニング、リーディングなど本格的な語学研修に助成 ◇英語圏での海外短期留学（1ヶ月程度 70人） 語学研修に加え、演劇やスポーツなど海外でチャレンジしたいことを実現するため、1ヶ月程度の短期留学に助成 ◇海外長期留学（原則1年間 10人）	
	➡ 年間100人を募集(今後5年間で500人を海外留学に)		
	2 京都グローバルコミュニケーション校の指定		
	目 的	国際色豊かな京都府ならではの国際感覚とコミュニケーション能力の育成	
	内 容	留学生や訪日旅行生との交流など異文化を理解し尊重する資質・能力を育成する取組を推進 英語力向上に向けた取組を実施し、英検準2級以上相当の生徒数の増加を目指すとともに、成果を他校に波及	
	3 英語教員ブラッシュアップ事業		
	目 的	英語教員の英語力・指導力の強化	
	内 容	英語科教育講座などにより指導力を高めるとともに、教員が自らの英語力を把握し、自己研鑽へとつながるよう英検準1級の受験料を助成	
目的 対象 方法等	4 英語指導助手（AET）の配置		
	目 的	外国語による実践的なコミュニケーション能力の充実	
	内 容	JETプログラムによる英語指導助手を全府立高校に配置（増員）	
	5 個別学習支援ツールの作成		
	目 的	基礎・基本の定着が必要な生徒への学習意欲の向上	
	内 容	英語の教科書をもとにした、個別学習支援ツール「読む力を伸ばす英文教材集」の作成・配布	
担当課名	学校教育課 指導第1担当 高校教育課 振興担当	電話番号	075-414-5842 075-414-5815

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	少年非行問題総合対策事業費		
予算額	18,347 千円	新規・継続の別	新規
事業内容	1 目 的 児童生徒の暴力行為等の問題行動の早期解決を図るため、未然防止の観点から総合的な対策を推進する。		
	2 内 容		
	事 項	内 容	事業費
	小学校段階での問題行動等の未然防止の推進	「まなび・生活アドバイザー」の拡充配置 課題を抱える児童に対する家庭支援などの個別指導及び生徒指導体制の強化 ※課題のある中学校の管内小学校に配置	13,347
	課題の多い中学校の生徒指導体制の強化	生徒指導緊急指導教員の配置 暴力行為の多発で課題のある中学校に緊急的に教員を配置し、生徒指導を強化 ※非常勤講師の配置	—
	道徳教育の推進	児童生徒の豊かな人間性をはぐくむための道徳教育教材等を作成	5,000
	計		18,347
担当課名	教職員課人事担当 学校教育課指導第2担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5840

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	「教師力向上」地元パワー活用事業費						
予算額	12,000千円	新規・継続の別	継続				
事業内容 （目的） （対象） （方法等）	1 目的 地元京都の大学や民間企業等と連携し、喫緊の課題に応じた質の高い研修を実施し、教員の人材育成を図る。 ・ 教員の大量退職・採用に伴う、様々な課題に対応 ・ 大学等の高い専門性、民間企業等の優れたノウハウの活用						
	2 内容						
	<table><tr><th>事項</th><th>概要</th></tr><tr><td rowspan="2">大学 連携講座</td><td>豊かな実践経験を持つ教員の大量退職に伴う、教科指導力等低下への対応 ○35講座程度 〈主な連携大学〉 京都大・京都府立大・京都教育大・京都工繊大・立命館大・佛教大・京都外大・京都産業大・大谷大・龍谷大・同志社女子大 等 </td></tr><tr><td>教育実践・学校運営の中核を担う中堅教員の不足に伴う、ミドルリーダーの育成 ○コミュニケーション能力向上、コーチング、メンタルヘルス、危機管理、チームマネジメント研修 等 ・15講座程度 ・民間企業、民間研究団体、シンクタンク 等</td></tr></table>			事項	概要	大学 連携講座	豊かな実践経験を持つ教員の大量退職に伴う、教科指導力等低下への対応 ○35講座程度 〈主な連携大学〉 京都大・京都府立大・京都教育大・京都工繊大・立命館大・佛教大・京都外大・京都産業大・大谷大・龍谷大・同志社女子大 等
事項	概要						
大学 連携講座	豊かな実践経験を持つ教員の大量退職に伴う、教科指導力等低下への対応 ○35講座程度 〈主な連携大学〉 京都大・京都府立大・京都教育大・京都工繊大・立命館大・佛教大・京都外大・京都産業大・大谷大・龍谷大・同志社女子大 等						
	教育実践・学校運営の中核を担う中堅教員の不足に伴う、ミドルリーダーの育成 ○コミュニケーション能力向上、コーチング、メンタルヘルス、危機管理、チームマネジメント研修 等 ・15講座程度 ・民間企業、民間研究団体、シンクタンク 等						
担当課名	学校教育課 企画振興担当	電話番号	075-414-5831				

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	集まれ未来の教員サポート事業費		
予算額	3, 0 0 0千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 優秀な教員を確保するため、教員志望者を対象とした教員としての実践力を養成する総合的かつ体系的なプログラムを実施する。		
	2 内 容		
	事 項	概 要	
	学生ボランティア	教員志望の大学生等による学校ボランティアへの支援 ○教員志望の大学生、短期大学生、大学院生 6 0 0名程度 ○通 年	
	教員養成サポートセミナー	教員志望者を対象に、大学と連携してインターンシップを実施 *インターンシップ：学生が一定期間学校で研修生等として働き、自分の進路に関連のある就業体験を行う制度 ○府教委と協定を結ぶ大学の3回生（または4回生、短大2回生） 1 0 0名程度 ○毎年6月～翌年1月（約8ヶ月）	
教師力養成講座	京都府教員を志望する大学生を対象に、教師力養成のための実務研修・講義等を実施 ○京都府の公立学校の教員志望者で、 ①大学3回生または大学院1回生等 ②教員養成サポートセミナー修了者又は学生ボランティア経験者等 ○6 0名程度（書類等による選考を実施） ○毎年2月～6月（約5ヶ月）		
担当課名	教 職 員 課	評価・育成担当	電話番号 075-414-5784

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	学校改革リーダー養成事業費			
予算額	3,000千円		新規・継続の別	新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 中堅・若手教員が、産・官・学と連携した調査・研究等を通して、学校の課題解決や高校改革を進めることにより、今後の高校教育の中心的役割を担う教員を養成する。 2 概要 (1) 内容 ▶ 個人又はグループで高校改革に関わる研究テーマを設定し、テーマに沿った研究による政策提案を行う。 【研修例】 ・大学や民間企業の経営戦略やノウハウを調査・研究（海外を含む。）し、今後の高校改革期における学校経営のあり方を提案 ▶ 教員が研修に専念できるように、後補充の講師を配置 (2) 対象 今後の高校教育の中心的役割を担う中堅・若手教員			
担当課名	教職員課 高校教育課	企画調整担当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5787 075-414-5851 075-414-5852

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費		
予算額	4, 5 7 0 千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目 的 学校、保護者、地域が連携し、社会全体で子どもたちを守るという気運の醸成を図るとともに、スクールガード（学校安全ボランティア）による活動が定着するよう支援することにより、子どもたちを見守る安全体制を整備する。 2 内 容 以下の取組を実施する市町村への助成 ○スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等の実施 ○スクールガード養成講習会の実施 ○子ども見守り活動の実施 3 負担割合 国 1 / 3、府 1 / 3、市町村 1 / 3		
担当課名	保健体育課 健康安全教育指導担当 健康安全教育振興担当	電話番号	075-414-5872

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	実践的防災教育総合支援事業費		
予算額	5, 4 2 5 千円	新規・継続の別	新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 東日本大震災の教訓を踏まえた新たな防災教育の指導方法や教育手法の開発・普及を行うとともに、緊急地震速報等の防災科学技術を活用した避難訓練等の先進的・実践的な防災教育を行う学校における取組への支援を実施する。 また、事業実施を通じて、地域の防災関係機関との連携体制の構築・強化を促す。 2 内 容 (1) 府内の学校において、緊急地震速報受信システム等を設置 (2) 緊急地震速報受信システム等を始めとした防災に関する科学技術等を活用するなどし、モデル的な防災教育を展開（津波型、地震型など地域特性を考慮） (3) 「危険等発生時対処要領」や避難訓練などに対するチェック・助言を行う学校防災アドバイザー（外部有識者）を学校に派遣		
担当課名	保健体育課 健康安全教育指導担当 健康安全教育振興担当	電話番号	075-414-5872

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立学校施設整備費		
予算額	4,927,216千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 府立学校耐震強化対策費 3,861,888千円 (㊥債務負担行為額 2,888,000千円) 拡充 23校45棟の耐震工事を実施 継続㊲～㊴ 7校11棟 新規㊴～㊵ 20校34棟		
	2 府立学校校舎等整備費 140,000千円 新 (1) 新設高等学校（京都市地域）整備 基本・実施設計 (120,000千円)		
	新 (2) 舞鶴支援学校北吸分校移転整備 基本・実施設計 (20,000千円)		
	3 府立学校施設整備費 469,000千円 学校機能維持対策 老朽化対策 等		
	4 府民公募型安心・安全整備事業費 100,000千円		
	5 海洋高校実習船建造費 356,328千円 (㊥債務負担行為額 968,000千円)		
担当課名	管理課 管理担当	電話番号	075-414-5768

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立学校耐震強化対策費		
予算額	3,861,888千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 先の東日本大震災では、学校施設が子どもの命を守っただけでなく、多くの施設が避難所として機能し、その安全性の確保が極めて重要であることが再認識された。 このことから、府立学校についても、災害から子どもの命を守ることを最優先とし、耐震化の前倒しを図る。 2 事業概要 23校45棟の耐震化工事を推進 (内訳) 継続②③～②④ 7校11棟 新規②④～②⑤ 20校34棟 ※学校数は重複してカウント ポイント ①<u>府立学校の耐震対策を加速化</u> 平成23年度 15校26棟 (うち、新規 7校11棟) ↓ 平成24年度 23校45棟 (うち、新規 20校34棟) ※耐震化を要する残り125棟のうち、34棟 (27.2%) に新規着手 ②<u>耐震化予算を大幅に増額 (過去最高額)</u> 前年比約28.6%増の3,862百万円 (②③ 3,002百万円) ③<u>工事内容の見直しにより、安心・安全な学校を早期実現</u> 耐震化を早期に完了させるために、これまでの工事内容を見直し、耐震ブレースの設置などの構造体の耐震補強を中心に行うことで、実施棟数を増 <従前> 構造体の耐震補強+リニューアル工事 <今後> 構造体の耐震補強のみ ④<u>耐震化率は86.2%に大幅アップ</u> 77.1% (H23.4.1) → 86.2% (H26.4.1見込) 3 事業費 3,861,888千円 (うち、新規 2,018,790千円) (②⑤債務負担行為額2,888,000千円)		
	担当課名	管理課 管理担当	電話番号 075-414-5768

平成 2 4 年度耐震補強工事実施校一覧

継 続

(単位：千円)

学 校 名	棟 名	面積 (㎡)	24年度	25年度
鳥羽高校	教室棟	3,068	418,762	—
向陽高校	教室棟、渡り廊下	3,548	366,251	—
城陽高校	階段棟、特別教室棟 2 棟	3,427	189,098	—
京都八幡高校	管理棟	2,701	328,940	—
田辺高校	特別教室棟	2,619	356,538	—
園部高校	教室棟、渡り廊下	1,822	151,334	—
工業高校	武道場	365	32,175	—
計 7 校 1 1 棟			1,843,098	—

新 規

(単位：千円)

学 校 名	棟 名	面積 (㎡)	24年度	25年度
山城高校	教室棟、渡り廊下	3,046	39,630	67,840
洛北高校	格技場	944	42,300	58,100
朱雀高校	教室棟	2,887	156,620	208,440
鳥羽高校	本館棟、教室棟	3,278	346,030	452,400
北桑田高校	特別教室棟	1,122	43,140	63,210
桂高校	特別教室棟	2,121	66,420	97,850
洛西高校	家庭科棟	1,646	36,790	55,520
東稜高校	教室棟 2 棟	3,932	45,710	66,440
洛水高校	格技場、教室棟、渡り廊下	2,574	61,370	91,130
向陽高校	特別教室棟	3,135	237,800	371,220
東宇治高校	管理教室棟	3,783	297,990	399,230
園部高校	教室棟 2 棟	2,361	80,360	111,150
須知高校	武道場、教室棟	1,895	68,520	100,330
綾部高校	武道場、渡り廊下	609	35,430	53,310
福知山（三和分校）	実験室棟	472	22,860	41,580
工業高校	普通特別教室棟、渡り廊下 2 棟	3,082	141,960	229,620
西舞鶴高校	特別教室棟、便所棟、渡り廊下	1,165	83,560	77,310
峰山（弥栄分校）	農業実験室棟	250	13,050	21,480
網野（間人分校）	管理教室棟	1,024	64,640	107,080
久美浜高校	特別教室棟 3 棟	3,455	134,610	214,760
計 2 0 校 3 4 棟			2,018,790	2,888,000

計 2 3 校 4 5 棟			24年度	25年度
			3,861,888	2,888,000

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府立学校校舎等整備費		
予算額	140,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容	1 目的 生徒の多様なニーズに対応した施設整備を行うことにより、教育活動の充実を図るとともに、魅力ある学校づくりを行う。 2 事業概要 (1) 新設高等学校（京都市地域）整備費 ○ 生徒一人一人の生活環境や多様な学習ニーズに柔軟に対応する、京都スタイルの新しいタイプの教育を推進するための高等学校を京都市地域に新設。 ○ 実施計画及び事業費 平成24年度 基本・実施設計 120,000千円 平成25～26年度 建設工事 (2) 舞鶴支援学校北吸分校移転整備費 ○ 中丹地域医療再生計画に基づく府立舞鶴こども療育センターの移転に伴い、舞鶴支援学校北吸分校を移転し、特別支援教育を推進するための施設整備を行う。 ○ 実施計画及び事業費 平成24年度 基本・実施設計 20,000千円 平成24～26年度 建設工事		
目的 対象 方法等			
担当課名	管理課 高校教育課 特別支援教育課	管理担当 高校改革担当 企画調整担当	電話番号 075-414-5768 075-414-5853 075-414-5835

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

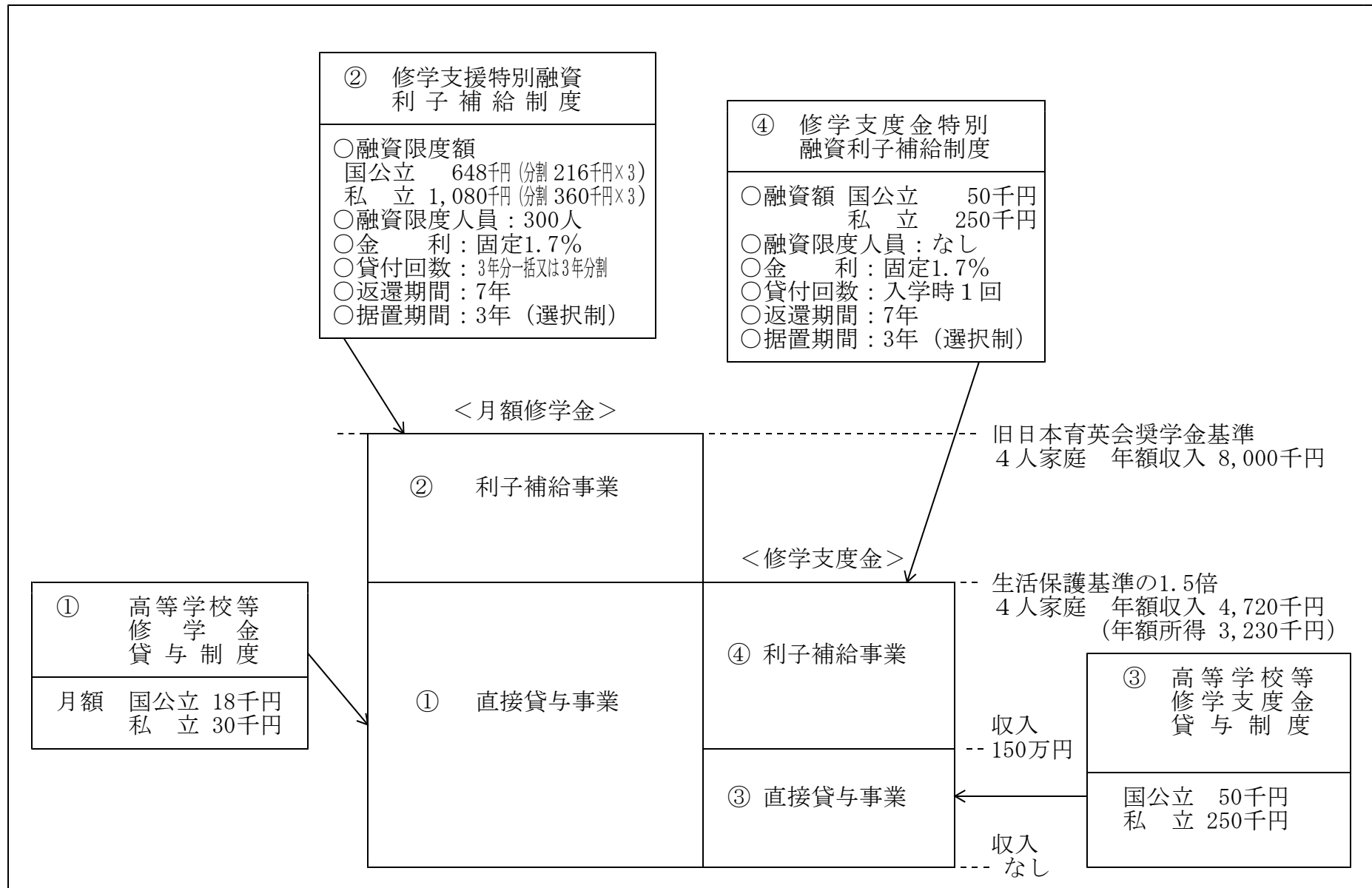
事業名	海洋高校実習船建造費			
予算額	356,328千円	新規・継続の別	継続	
事業内容	1 目的			
	海洋高校における水産教育の更なる充実・発展を図るため、生徒の乗船実習に必要な実習船「みずなぎ」の代船建造を行う。			
	2 事業概要			
	船舶の安全運航における技術の進展に対応した機器設備を備えた実習船（250トン）の建造を行う。			
	目的 （対象方法等）		現 船	新 実 習 船
		竣工日	平成9年3月	平成25年度中（見込）
		総トン数	185トン	250トン
		全 長	40.50m	47.20m
		型 幅	7.60m	8.20m
		型 深	3.20m	3.45m
航海速力		11.5ノット	11.6ノット	
定 員		37名	37名	
航海区域	近海区域（国際航海）	近海区域（国際航海）		
事業内容	◇緊急支援連絡装置等を設置することで、より安心・安全な海洋実習を実現			
	◇時代に即した実習設備により、京都府の水産業を担う人材の育成 主な実習設備：国際航海設備、底引き網設備、いか釣り漁設備、 各種海洋調査設備 等			
	◇汚水処理設備等、環境にも配慮			
	3 実施計画及び事業費			
	平成23年度	概略設計及び基本設計	7,455千円	
	平成24年度	建造工事	356,328千円	
	平成25年度	建造工事、竣工	968,000千円 （債務負担行為）	
	担当課名	管 理 課 高校教育課	管理担当 振興担当	電話番号 075-414-5768 075-414-5815

平成24年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	高校生等修学支援事業費		
予算額	1,808,633千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目 的 教育の機会均等を図るため、修学資金貸与や通学費補助などにより高校生の修学を支援する。		
	2 内 容 (単位：千円)		
	事 項	内 容	事業費
	高等学校等修学資金貸与	・修学金（月額、上限） 国公立 自宅通学 18,000円 自宅外通学 23,000円 私立 自宅通学 30,000円 自宅外通学 35,000円 ・修学支度金（入学一時金、定額） 国公立 50,000円 私立 250,000円 ・特別融資利子補給 銀行等からの貸与分に対する利子補給	1,780,612
	高等学校生徒通学費補助	多額の通学費を要する生徒の保護者負担を軽減するための補助	6,500
	定通教育教科書等給与	定時制・通信制課程に通う生徒への教科書給与等	8,429
	定通修学奨励金貸与	定時制・通信制課程に通う生徒への修学奨励金の貸与	13,092
担当課名	高校教育課 振興担当 奨学担当	電 話 番 号	075-414-5815 075-414-5856

高校生等修学資金貸与事業の概要について



平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	家庭教育支援事業費		
予算額	3,852千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 目的 家庭での学習習慣や生活習慣が身に付くよう、就学前の子どもを持つ親等を対象に学習機会や情報の提供を行うとともに、親同士のネットワークづくりを進め、さらには専門家による相談体制の充実を図ることにより、家庭教育力の一層の向上を目指す。		
	2 内容 (単位:千円)		
	事項	内容	事業費
	親のための 応援塾 開催事業	小学校入学前の子どもを持つ保護者と先輩保護者との交流等を行う「親のための応援塾」の開催により、子育てに関わる親の不安の解消と親同士のネットワークの形成を目指す。 ○実施主体 京都府PTA協議会に委託し、各小学校PTAにおいて実施 ○実施内容 子育てワークショップ、先輩親との交流、相談、アドバイスの実施	1,392
	家庭教育 支援基盤 形成事業	家庭教育力の向上のため、親への学習機会の提供や家庭教育支援チーム活動を行う市町(組合)教育委員会に対し、助成等の支援を行う。 ○市町村実施事業(補助事業) 家庭教育支援チーム活動の普及・定着 子育てに係る学習機会の提供 ○府実施事業 京都府家庭教育支援協議会の設置 指導者等研修の実施(教育局単位)	2,460
担当課名	社会教育課 振興担当 社会教育主事	電話番号	075-414-5884 075-414-5889

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	地域で支える学校教育推進事業費		
予算額	14,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的） 対象 方法等	1 目的 地域ぐるみで学校を支える体制整備として「学校支援地域本部」を設置して地域コーディネーターや学校支援ボランティアを配置し、学習支援・部活動の支援・読書活動支援・学校行事の支援など、学校のニーズに応じた教育支援活動を展開する。 2 内容 (1)市町村実施事業（補助事業） ・運営委員会の設置（市町村毎に設置） 学校支援の推進に係る企画立案、広報、人材養成等を実施 ・学校支援地域本部の設置（原則中学校区単位で設置） 地域コーディネーター 学校のニーズを把握し、学校の要請に応じて各種ボランティアを派遣 学校支援ボランティア（教育活動支援員） 実際に学習支援や部活動指導などの学校支援を行う地域住民、学生等 (2)府実施事業 ・推進委員会の設置 地域社会で子どもをはぐくむ事業の効果的な推進方策を検討 ・指導者等研修の実施 京のまなび教室の指導者研修会と合同開催。両事業の関係者が互いの活動内容や取組状況等を情報交換することにより、コーディネート能力等の資質の向上を目指す。 ・事業の啓発 事業パンフレットや啓発DVD、実践事例集等を作成し、市町村の取組を支援		
担当課名	社会教育課 振興担当	電話番号	075-414-5884

平成24年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	京のまなび教室推進事業費		
予算額	52,710千円	新規・継続の別	継続
事業内容	1 目的 地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進するため、学校等を子どもの安心・安全な居場所として活用した「京のまなび教室」の開設を支援し、土曜日等における子どもの体験活動・学習活動等の充実を図る。 2 内容 (1)市町村実施事業（補助事業） ・運営委員会の設置 事業の運営方法等を検討する委員会の設置・運営 ・コーディネーター等の配置 コーディネーター：各市町村における事業の総合的な調整等 学習アドバイザー：児童の学習や体験活動を支援 安全管理員：児童の安心・安全を確保 ・京のまなび教室の実施 時間：土曜日の午前、平日の放課後等 内容：学習活動、スポーツ活動、文化体験、異世代交流等 場所：小学校、公民館、児童館等の身近な施設 指導者：安全管理員や学習アドバイザー等に加え、地域の高齢者、高校生・大学生ボランティアなど、地域の人材の参画を得て実施 (2)府実施事業 ・推進委員会の設置 教育支援活動及び放課後対策に係る事業の効果的な推進方策及び総合的な在り方を検討 ・指導者研修の実施 市町村のコーディネーター等の資質向上をねらいに、府域及び教育局別の研修会を実施 ・特別講師のコーディネート 京の伝統工芸士、企業・団体の技術者、大学院生等を「特別講師」としてリストアップして市町村に提示		
担当課名	社会教育課 振興担当	電話番号	075-414-5884

平成24年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	被災地児童生徒心の復興等支援事業費		
予算額	8, 200千円	新規・継続 の別	新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 東日本大震災の被災地（福島県）の子どもたちを京都に招き、京の文化体験や学習支援を行うことにより、復興を支援する。		
	2 内 容		
	事 項	内 容	
	子どもたちの心の復興支援事業費	1 内 容 長期の避難生活等を強いられている福島の子 どもたちに、京都の豊かな自然や文化に触 れることで心を癒してもらい、災害のスト レスに負けないような心の復興を支援する。 ・ 京都大学と連携した取組（科学体験） ・ 京の伝統文化体験 等 2 対 象 被災児童生徒（小学生・中学生） 3 実施時期 夏季休業期間中（4泊5日程度）	
	高校職業学科生徒受入事業費	1 内 容 府立高等学校の施設・設備等を活用して、被災地の職業学科生徒の実験・実習の機会を確保するとともに、京都府の高校生との交流を行う。 2 対 象 被災地の職業学科生徒（農業、工業、商業、水産学科） 3 実施時期 夏季休業期間中の1週間程度	
担当課名	社会教育課 企画調整担当 高校教育課 指導第1担当	電話番号	075-414-5882 075-414-5851

平成 2 4 年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	被災児童生徒就学等支援事業費			
予算額	10,041千円	新規・継続の別	新規	
事業内容 （目的） 対象 方法等	1 趣 旨			
	東日本大震災により被災した児童、生徒等の就学等を支援するため、「京都府高等学校修学等支援基金」を活用し、教育機会を確保する事業を実施			
	2 事業内容			
	(1)就園奨励・就学援助事業 9,471千円			
	幼稚園	市町村が実施する幼稚園就園奨励事業に補助 対象費目：入園料、保育料		
	小・中学校	市町村が実施する就学援助事業に補助 対象費目：学用品費、通学費、修学旅行費、給食費等		
	(2)奨学金事業 570千円			
	高等学校	奨学金貸与		
	担当課名	学校教育課 企画振興担当 高校教育課 奨学担当	電話番号	075-414-5831 075-414-5155